

ふるさと未来講座「歴史」福井②

「福井空襲の記憶をつなぐ若い力」

日 時：12月14日（日）14:00～15:30

講 師：福井県立大学 地域経済研究所 教授 青木 和人 氏

（福井空襲デジタル地図の作成について）

福井県立歴史博物館 学芸員 橋本 紘希 氏（福井空襲の概説）

福井県立大学 学生のみなさん（デジタル地図作成への思い）

会 場：福井県生活学習館（ユウ・アイ ふくい） 映像ホール

（敦賀市・越前市特設会場配信あり）



福井空襲から80年。戦争を知らない世代が増える中、福井県立大学の学生が空襲の悲惨さを目に見える形で伝えるデジタル地図づくりに取り組みました。彼らの実践から、空襲の記憶を風化させないために、そして戦争の過ちを繰り返さないために、私たちができることは何かについて考えました。

参加者からは「福井空襲当時は満4歳で、いろいろ思い出させていただきました」「若い声が感受性豊かに伝わってきました」「活動に参加され、いろいろな考え方や発想を持っている学生の話聞いて、有意義でした」などの感想が寄せられました。

福井・戦争デジタルアーカイブス(福井新聞社) ※外部サイトへリンクします。

https://www.fukuishimbun.co.jp/common/usr/map/war_archives/

戦後80年 県立大学生がデジタル地図に刻む平和への願い

福井空襲の記憶をつなぐ若い力

「福井空襲の記憶を次世代につなごう！」

空襲の記憶が風化しないように、戦争の過ちが繰り返されぬように、私たちができることは何か、また行動を起こされたことについて、ご意見を募集しました。

事後アンケート募集期間:講座終了後~1月13日 多くのご回答ありがとうございました



【デジタル地図についてのご意見】

- ・作られたデジタル地図の戦火地点をクリックすると生の声が読めるようにしていただけたら、より身近に感じられるのではないかと思います。
- ・福井空襲史刊行会の1978年刊『福井空襲史』は当時のMAPなど細かい正確を期した労作なので是非参考にすべきです。

【私たちにできること】

- ・若い世代、次世代に伝えること。
- ・平和とは何か、自分の力の及ぶ範囲、何をすべきか、考え続けること。
- ・空襲について存命の体験者から話を聞き、記録を残し、語り継ぐこと。
- ・空襲の実態を本や人から学び、痕跡が残っているなら現地を訪れ、案内出来るようにすること。

【講座後に行動を起こしたこと】

- ・体験者の話を聴く。
- ・積極的に関心を持って空襲などの証言を聞きに行っています。
- ・空襲の記録集や地図資料などの収集・整理を始めました。